

皆さん、おはようございます。校長の佐久間です。残念ではありますが、2学期の始業式も、新型コロナウイルス感染症と熱中症予防のため、放送での実施となります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているため、埼玉県教育委員会からの通知に基づき、本日から、緊急事態宣言が終了するまで、分散登校・短縮授業を実施します。

さて、今年度も、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、制約の多い夏季休業でしたが、充実して過ごされたでしょうか。進学補習や部活動、所高祭の準備等で元気に登校していた生徒もいました。

本日から2学期となりますが、今学期は1学期以上の制約の中で教育活動を継続していかなければならなくなりました。既に述べましたが、夏季休業中、新型コロナウイルスはさらなる感染拡大を続けています。感染者も、全国で1日2万5千人前後、埼玉県でも感染者が1日2千人を超える日もあります。特に、従来ウイルスよりも感染力が強く、若者も感染しやすいデルタ株が、感染の大部分を占めるようになってきました。大変気がかりです。ですから、皆さんは、登下校時や在校時のマスクの着用、手洗い・うがいの励行や、朝晩の検温等の健康観察をしっかり継続してください。マスクは、不織布マスクが最も高い効果があり、次いで布マスク・その次がウレタンマスクの順に効果があるとのこと。参考にしてください。また、免疫力を高めるため、バランスの取れた食事、適度な運動や十分な睡眠も心がけてください。マスクを外さざるを得ない、昼食時は、対面せず会話を避けてください。また、自分自身や同居している家族に発熱や咳等の風邪症状がある場合は、学校に連絡の上、登校しないでください。万一、新型コロナウイルスに感染していた場合、校内に濃厚接触者が生じてしまい、場合によっては学級閉鎖や学年閉鎖、臨時休業にせざるを得ない状況が生じます。さらに、登下校時は寄り道しないようにしましょう。不要不急の外出は避け、特に、家族以外とは外食しないようにしてください。皆さんや皆さんの家族、周囲の人の生命や健康を守るためです。また、学校での教育活動を継続していくために必要な措置です。協力をよろしくお願いします。

ところで、2学期は最も長い学期です。3年生にとっては、進路決定へ向けて本格的に動き出す大切な時期です。また、所高祭等、大きな学校行事も予定されています。ただし、所高祭について、実施の方法を大幅に変更しなければならなくなりました。さらに、今後の感染状況の拡大によっては、中止や延期を検討しなければならなくなります。

新型コロナウイルス感染症に気を配りながら学校生活を過ごすことは、皆さんにとって大きな負担やストレスとなっていると思います。ただし、そのような経験が皆さんの成長に繋がるとよいと考えています。パナソニックの創業者で、経営の神様ともよばれた松下幸之助は、『道を開く』という著書で以下のように述べています。

「窮境（ピンチ）に立つということは、身をもって知る尊いチャンスではあるまいか。得難い体得の機会ではあるまいか。そう考えれば、苦しいなかにも勇気が出る。元気が出る。思い直した心のなかに新しい知恵がわいて出る。そして、禍を転じて福となす、つまり一陽来復、暗雲に一すじの陽がさしこんで、再び春を迎える力強い再出発への道がひらけてくると思うのである」と。

困難を前にして「よし来た、困難！ 困難はチャンス！」「これでまた成長できるぞ！ さあ、前に進もう！」という「プラス思考」・「ポジティブシンキング」で、明るく陽気に行きましょう。無論、なかなか解決できない大きな悩みや辛いことは、一人で抱え込まず、遠慮なく信頼できる人物、例えば保護者や教員に相談してください。

それでは、今学期も皆さんの活躍を大いに期待しています。以上で話を終わります。